

発行元：CTC教育サービス

目次

- ニュース CTC教育サービスWEBサイト全面リニューアル！！
- 新コース Cisco認定ICNDコース 新バージョン (v2.0) 提供開始！
- トピック Inst. Tech View ～第27回 “パスワードについて(2)”～
- コラム スーパーエンジニアの独り言 第25回 “リンスカム”

★技術コラム続々更新中！！★

7月更新最新コラム

- ・第24回 Gitでオープンソースの考古学調査？！
(RedHat 中井様)
- ・第20回 仮想環境の障害対応について (志茂様)
- ・第6回 Hyper-Vの仮想ネットワーク アダプター
(Microsoft (ビズポイント) 小塚様)
- ・第5回 Ruby1.8.7からのバージョンアップ (ゼネット 松永様)
- ・第1回 データセンターには3つの種類がある (杉田様)

<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=1200&m=20610&v=0e5a18f7>

ニ | ュ | ー | ス |

●● CTC教育サービスWEBサイト全面リニューアル！！ ●●

CTC教育サービスのWEBサイトが全面リニューアルオープンしました！
お客様の使い勝手を重視し、いくつかの新機能もリリース！
新しくなったCTC教育サービスWEBサイト「Schoolweb」を是非ご確認ください。

▲▽新WEBサイトのご紹介▲▽

- ・レスポンスWEBデザインの採用による、スマートフォン、タブレット対応
 - ・クレジットカード決済機能
 - ・複数人、複数コースのお申込みに対応
 - ・学習テーマごとに情報を集約
- 等々

新しくなったCTC教育サービスWEBサイトはこちら
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=1201&m=20610&v=abd188f9>

皆様のアクセスをお待ちしてます！

新 | コ | ー | ス |

◆◇ Cisco認定ICNDコース 新バージョン (v2.0) 提供開始！ ◇◆

この度、CTC教育サービスでは、Cisco ICNDコースの新バージョンをリリースいたしました。

N611 : ICND1 (Interconnecting Cisco Networking Devices Part 1) v2.0

N612 : ICND2 (Interconnecting Cisco Networking Devices Part 2) v2.0

どちらも従来のICND1 v1.0とICND2 v1.0の後継にあたるコースであり、Cisco認定資格のCCENT / CCNAの取得を目指される方にお奨めのコースです。

●ICND1 v2.0

- ・新規追加項目
ACL / NAT / VLAN / DHCP / OSPF / IPv6
- ・削除項目
無線LAN / RIP

●ICND2 v2.0

- ・新規追加項目
マルチエリアOSPF / EIGRP for IPv6 / OSPFv3 /
ネットワークデバイス管理 / デフォルトゲートウェイ冗長化

更に詳細な内容につきましては、各コース情報をご覧ください。

皆様のご受講を心よりお待ちしております。

N611 : ICND1 (Interconnecting Cisco Networking Devices Part 1) v2.0

期間 : 5日間

価格 : バウチャーあり ¥220,500 (税込)

バウチャーなし ¥210,000 (税込)

詳細 : <http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=1202&m=20610&v=9e3c3eaa>

日程 : 11/18-22

N612 : ICND2 (Interconnecting Cisco Networking Devices Part 2) v2.0

期間 : 5日間

価格 : バウチャーあり ¥220,500 (税込)

バウチャーなし ¥210,000 (税込)

詳細 : <http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=1203&m=20610&v=3bb7aea4>

日程 : 12/9-13

ト | ピ | ッ | ク |

◆◇ 『Inst. Tech View ～第27回 “パスワードについて (2)” ～』 ◇◆

今回のInst. Tech Viewは、第22回に続いてパスワードについての話題です。

前回も記しましたが、昨今、他人のアカウントを不正に乗っ取ろうとする攻撃が後を絶ちません。今年に入ってから誰かが知っているいくつかの有名なSNSに対しても、そのような攻撃が行われたことがニュースになっています。もし自分自身のアカウントが攻撃を受けてしまい、万が一適当なパスワードが設定されてしまっていると簡単に乗っ取られてしまうことになりかねません。

前回に引き続いて、今回もそのような攻撃を受けた場合でも容易にアカウントが

乗っ取られないようにするために、どのようなことを意識してパスワードを設定したら良いかについて紹介します。皆様にとってもパスワード設定は身近なもので定期的に行っている作業かと思えますので、参考にさせていただければ幸いです。

さて、前回ではパスワードクラッキングツール（パスワードを何度も試してログインを試みる攻撃ツール）の挙動を紹介し、その防御のための効果的なパスワードとして以下の3点を挙げました。

1. 辞書に載っている単語をパスワードに設定しない
2. パスワードの文字数をできるだけ長くする
3. パスワードに大文字や数字・記号も含める

これらを意識してパスワードを設定することで、パスワードクラッキングツールを使用した攻撃に対し防御性を高められます。

ただし、他人のアカウントを不正に乗っ取る攻撃パターンはパスワードクラッキングツールを使用したものだけとは限りません。今回はその他の攻撃パターンを紹介し、それらに対し効果的に防御性を高める方法の一つをご紹介します。

まず、パスワードクラッキングツール以外の攻撃パターンの代表的なものは以下のとおりです。

●他サイトで使用されているユーザー名/パスワードの使用
攻撃者がWebサイトに不正にアクセスして入手したユーザー名とパスワードを、別のWebサイトで試す手法です。たとえ推測しづらいパスワードを設定していたとしても、複数のWebサイトで同一のユーザー名とパスワードを設定していた場合、簡単にアカウントを乗っ取られてしまいます。

●リバースブルートフォースアタック
パスワードを固定してユーザー名を総当たりで試すパスワードクラッキングの手法です。前回紹介したとおり、ブルートフォースアタックはユーザー名を固定してパスワードを総当たりで試すパスワードクラッキングの手法です。それに対して、固定にする箇所をパスワードにしたものがリバースブルートフォースアタックです。この攻撃は簡単なパスワードが設定されているアカウントに対して非常に効果的です。

●ウイルスに感染したPCからのユーザーID/パスワードの流出
ウイルスの中には感染したPCからユーザーIDやパスワードを盗むものがあります。ウイルス感染の代表的な経路は、添付メール・Webサイトの閲覧・OSやアプリケーションの脆弱性の利用などが挙げられます。

1番目に対しての効果的な防御方法に「複数のWebサイトで同じパスワードを使用しない」、2番目に対しての効果的な防御方法に上に挙げた3つのパスワードクラッキングツール対策、3番目の攻撃例に対しての効果的な防御方法に「OSやソフトウェアの状態をできるだけ最新の状態にする」ことが挙げられます。これによりWebサイトの閲覧やOSやアプリケーションの脆弱性を利用した感染を防ぐことができます。ただ、これら3つや前回取り上げたパスワードクラッキングツールを含め、すべての攻撃パターンに対しての効果的な防御方法として「2段階認証の利用」があります。

■2段階認証

2段階認証は、従来のユーザー名とパスワードの入力の後、「確認コード」を入力させる認証方式です。正しいユーザー名とパスワードが完了されると、アカウントの正規の利用者に対して「確認コード」が送付されます。正規の利用者への確認コードの送付手段はメールや携帯メール、電話による

ctc201307

音声通知、専用アプリによる通知などがあります。
送られてきた「確認コード」を入力するとアクセスが許可されます。
なお、確認コードは毎回変わるため、攻撃者が入力したユーザー名とパスワードが合致した場合でも確認コードを合わせることが難しいため、アカウントが乗っ取られることをより困難にすることができます。

この2段階認証は様々なパスワードクラッキングの対策として非常に効果的なため、GoogleやYahoo、Facebookなど多くの代表的なWebサービスでの導入が進んでいます。
認証時の手間が増えますが、これらのサイトを利用している方でよりセキュリティを高めたい方は、利用の検討をお勧めいたします。

なお・・・
CTCTではパスワードクラッキングをはじめとしたコンピュータへの様々な攻撃手法の実態と、その対策方法を紹介するコースを提供しております。
セキュリティ関連の知識を向上させたい方のご受講を心よりお待ちしております。

コースの詳細情報はこちら：

N472: 実践！コンピュータセキュリティ
～ハンズオンで学ぶハッキング手法とその対策～
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=1204&m=20610&v=f5e7520c>
期間：2日間
価格：¥105,000（税込）
日程：7/29-30 9/19-20 11/25-26

LI39: Linux OSセキュリティ
～Linuxシステムへの攻撃手法と、その防御方法について～
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=1205&m=20610&v=506cc202>
期間：3日間
価格：¥119,700（税込）
日程：9/18-20 12/9-11

コ | ラ | ム |

◆ 『スーパーエンジニアの独り言 第25回 “リンスカム” 』 ◆

ティム・リンスカム（ティモシー・リロイ・リンスカム、Timothy LeRoy Lincecum）は、サンフランシスコ・ジャイアンツ（San Francisco Giants, SF）のピッチャーです。

2007年にプロ初登板してデビューを飾りました。デビューから傑出した活躍で2年目の2008年と翌年2009年と連続でサイ・ヤング賞（Cy Young Award）を二度受賞しています。彼は大リーグの選手としてはさほど上背も無く中肉中背の体格ながらも、投球フォームは振りかぶって体躯をダイナミックにしながら下半身を身長より大きくストライドをして全身の力を白球に全て伝導するかの如く投げ込むもので、そこから放たれたボールは正に剛速球であります。その気合の入った剛速球に打者が気合負けするかのようにならざるを得ないのが彼のプレースタイルです。センターに設置されたカメラから中継される映像では、投球フォームから豪快にボールを投げ込み打者のバットが空を切りキャッチャーミットに吸い込まれるのと同時に、リンスカムが投球後にベースボールキャップからはみ出た伸びた後ろ髪をなびかせて脚を大きく回して着地する姿が印象的でありました。そして彼の背番号55は「ゴジラ」こと松井秀喜選手と

同じであり直ぐにも記憶に定着されます。

筆者の個人的な趣向ではありますが、球団ではなくピッチャーとして、その独自の信念と全身全霊で持ちうる魂を表現する投手といえば、「炎のストッパー」こと津田恒実選手（広島東洋カープ）や「トルネード投法」の野茂英雄選手（近鉄バファローズ、ロサンゼルス・ドジャース、他）が特別な選手として挙げられます。そしてリンスカムのあの豪快なフォームから投げ込む勇姿に彼等と同じ魂の息吹を感じていたのです。

休日の朝に何の気なしにつけたテレビで米国メジャーリーグの試合中継が放送されていました。サンフランシスコ・ジャイアンツとサンディエゴ・パドレス（San Diego Padres, SD）の試合でパドレスのホームゲーム、ペトコ・パークでの一戦です。この試合中継を眺めていて最初は誰が投げているのか気がつきませんでした。よく目を凝らすとそこで登板していたのがリンスカムでした。背番号55が小さく見えます。あのダイナミックな投球フォームは気のせいかもしれませんが、小ぢんまりとまとまっているように感じられ、投げるボールも唸りを上げるストレートとは違い、大きく縦に変化するカーブといった変化球主体にコントロールして投げているのです。筆者は知りませんでした。中継のアナウンサーの解説ではリンスカムは近年スランプに悩まされているのだそうです。ボールの球速が失われ当初は唸りを上げていた剛速球が無くなったことで、機軸となる球種がなくなり投球の組み立てに苦しんでいるのだそうです。加えてプライベートに問題があったようで、周囲のファンからも多くの叱責を受けたのでしょう。精神的にも苦難の時期を過ごしたと想像されます。中継でベンチが映し出された時のリンスカムの顔は以前のワイルドさは影を潜め、まるでウォール街のサラリーマンのような小綺麗な風貌をしていました。

サッカー日本代表、本田圭佑選手のインタビューでのコメントが脳裏を過ぎります。「どうやって自立した選手になって『個』を高めていくことができるのか。組織力は当たり前、最後には個の力で試合が決することになるのだ。」と。

野球は団体競技ですがシステムティックに攻撃／守備が明確に分かれており、また個々の役割分担が明確な競技です。その中でも投手は一人（個）で試合の骨組みを作るといって重責を担っています。投手が延々と打ち込まれれば相手の攻撃も永遠に続き試合が成立しないのですから。しかしサッカーは時間を区切った団体競技で攻撃／守備が瞬時に変化し、個々の役割を持ちつつも同じフィールドの上にいる選手が縦横無尽に走り回り、選手の誰がゴールを蹴り込んでも点を得ることが出来るのです。役割分担という観点では、サッカーの方が柔軟な競技であり、より組織力を求められることは間違いないでしょう。だからこそ局所的に相手に対峙するのは『個と個』としての一対一での戦いとなるため、最終的には個の力を増強しなければ全体の力の向上は成し得ないという理屈でありましょう。

最後に対峙するのは「個であり、自分自身である」というのは、筆者も以前から常々思うところでありました。エンジニアを取り巻く様々な業務の形態の中で時には野球のスタイルでの攻防でもありましょうし、時にはサッカーの形式で行う場合もあるでしょう、ラグビーなど総力戦の場合もあります。本田圭佑選手の発言は、その何れのスタイルでも当てはまるのであろうと考えます。しかも、こうもきっぱり公の場でしかも仲間達の前で言い切るのには強い信念を持っているからに違いありません。決してエゴではなく仲間と一緒に自分も成長するのだという強い思いから仲間であるチームメイトの一人ひとりを鼓舞し、そして自戒の念を込めてというよりは彼が自分自身を奮い立たせる更なる決意表明としてしての発言なのでしょう。そして有限実行を目指す、本当にメンタリティが強い方なのだと思心しきりです。精神力が弱い筆者は彼のメンタリティを少し分けて貰いたいと思ってしまう程です。

ところでリンスカムの話ですが、テレビ観戦していたその試合でノーヒットノーランを達成していました。一流はやはり一流です。彼が今持てる力量を駆使して得た結果であり流石です。ですが、この快挙も幾度と無く、三塁手（サンドバル）と右翼手（ペンス）のファインプレーに助けられたものです。偉業達成に仲間の存在はやはり欠かせないです。一生懸命に投げるリンスカムを仲間が応援してくれたのです。ノーヒットノーランはリンスカム自身も人生初だそうで、最後のバッターを外野フライに打ち取ると、駆け寄ったキャッチャーに後ろから抱え上げられたリンスカムは、はにかむような笑顔がこぼれて喜びを隠しきれない様子でした。その奥ゆかしい笑顔に彼の少年のような素直さが垣間見られたように思います。

次回もお楽しみに。

■お問合せ・ご意見・ご感想は◆CTC教育サービス◆窓口まで
シーティーシー・テクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部
E-Mail : kyouiku@ctc-g.co.jp / TEL : 03-5712-8701

●外部委託について

弊社はメールニュース配信業務をシーティーシー・ビジネスサービス株式会社（CTC100%出資子会社）に委託しております。

●本メールマガジン編集・配信責任者

CTCT エデュケーションサービス部 部長 篠原 義一

所在地：東京都世田谷区駒沢1-16-7 ctc_edu_mail@ctc-g.co.jp

●個人情報保護方針

CTCグループの個人情報保護方針につきましては下記URLをご参照ください。

http://www.ctc-g.co.jp/guide/security_policy.html?top=b_security

●配信中止及びお問合せ対応について

- ・「CTC教育サービス News&Topics」の配信が不要な場合には、下記URLから配信停止のお手続きを行ってください。
<https://krs.bz/ctc-g/m/ctc-education>
 - ・当社では、複数種類のメールマガジンやメールニュースを発行しております。大変お手数ではございますが、CTC教育サービス以外からのメール配信についての受信拒否および個人情報に関するご要求は、各メールに記載の個々の連絡先宛にそれぞれご連絡をお願いします。
 - ・受信者ご本人様からの個人情報の開示・訂正・削除に関するご要求は、随時 ctc_edu_mail@ctc-g.co.jpにてお受けいたします。
-